



2023年5月19日

各 位

会 社 名 株式会社極楽湯ホールディングス
代表者名 代表取締役社長グループCEO 新川 隆丈
(コード番号 2340 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員CFO 鈴木 正守
電話番号 03(5275)4126 (代)

2023年3月期 連結業績及び個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績及び個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績

(1) 前期実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 10,036	百万円 △ 568	百万円 751	百万円 △ 1,979	円 銭 △ 99.20
当期実績値 (B)	12,768	40	184	△ 304	△ 14.20
増減額 (B-A)	2,732	609	△ 567	1,674	85.00
増 減 率 (%)	27.2%	—	△ 75.5%	—	—

(2) 差異が生じた理由

売上高は、中国でのゼロコロナ政策の実施及び解除後の感染拡大が客数に影響があったものの、日本でのコラボイベントが好調に推移したことに加えて、入館料を全店で値上げしたことや緊急事態宣言等による営業制限（店舗営業時間の短縮、アルコールの提供停止、飲食エリアの時短営業等）がなかったこと等により前期比27.2%増加の12,768百万円となりました。

営業利益は、エネルギーコスト等の高騰が影響したものの、売上高の増加により609百万円増

加の40百万円となりました。

また、店舗の営業制限に伴う雇用調整助成金や時短営業協力金が前期に比べ減少したこと等により経常利益については567百万円減少し184百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、472百万円の減損損失の計上があったものの前期に比べ計上額が減少したため赤字幅は減少し、304百万円の親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

2. 2023年3月期通期個別業績

(1) 前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 96	百万円 △ 332	百万円 256	百万円 △ 5,760	円 銭 △ 288.71
当期実績値 (B)	567	95	90	△ 337	△ 15.76
増減額 (B-A)	471	427	△ 166	5,422	272.95
増減率 (%)	490.3%	—	△ 64.8%	—	—

(2) 差異が生じた理由

新型コロナウイルス感染症の影響により連結子会社の売上高が大きく減少している状況を考慮して前期に実施していた経営指導料の免除を当期は終了したこと等により、売上高が490.3%増加の567百万円となり、営業利益は427百万円増加の95百万円となりました。

また、為替相場の変動により生じる為替差益の減少等により経常利益については166百万円減少し90百万円となりました。

当期純利益については、当期及び前期のいずれにおいても、連結子会社の業績悪化により債権の回収が困難となる可能性を考慮し、当該債権に対する貸倒引当金繰入額として見積もり計上いたしました。引当金の計上額が前期に比べ減少したため赤字幅は減少し337百万円の当期純損失となりました。

以上